

年 組 名 前 :



今 マスクの下どんな顔？

南部・睦合小は、校内に新入生の顔写真を掲示している。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、常にマスクを着けている新入生の顔と名前を上級生に覚えてもらおうと企画した。

入学式当日に撮影した新入生15人の顔写真にマスクを重ねて貼り付けられていて、マスクをずらすことで新入生の顔全体を見ることができる仕組み。マスクには新入

生の将来の夢が書かれている。顔写真の下の名前はカバーで覆われていて、めくると新入生の名前が分かるようになっている。

6年生の渡辺れんさん(11)は「仕掛けのおかげで新入生の顔と名前が覚えやすかった。マスクに書いてある将来の夢が、新入生と話すきっかけになった」と話している。

〈文・飯野終平、写真・広瀬徹〉

マスクを重ねて掲示された、新入生の顔写真。上級生がマスクをずらして笑顔を見たり名前を確かめたりしていた。＝南部・睦合小

(2021年4月27日付 山梨日日新聞1面)

問1 コロナ感染拡大防止のため、常にマスクを着けている日々が続いています。南部・睦合小では、新入生の顔と名前を上級生に覚えてもらうためのユニークな企画を考えました。

企画の具体的な内容を3つ挙げてください。

-
-
-

問2 睦合小の面白い企画について、あなたはどのように思いますか。感想を書いてください。

-
-